

くどう市長と語ろう！

ふれあいトーク

(第27回)



日 時 令和6年8月27日（火） 18時30分～

場 所 東地区活動拠点センター

《内 容》

参加者 31名

◆ はじめに、工藤市長から、挨拶と市政の近況報告として、新型コロナウイルス感染症拡大から今日までの市政運営を振り返り、以下について説明しました。

・新型コロナウイルス感染症の拡大

令和2年度のコロナで、本当に大変な3年間、4年間でした。最初は料飲店、喫茶店、その後、数えきれないだけの支援を行いました。市の予算も膨らんでいきましたが、あの時は、緊急避難のため、そうしなければ、皆さんの生活を守ることができませんでした。

・稚内空港の民間委託

令和2年、コロナの時に道内の7つの空港を民間が一括して運営することになりました。稚内空港を北海道エアポートが運営しています。空港ビルを建て替えるという話は、コロナでご破算になりましたが、新しい計画をつくっており、稚内空港を活性化してほしい。

・みどりスポーツパークのオープン

みどりスポーツパークがオープンしたのもコロナと一緒に時期でした。子どもたちが、スキーやスケートをなかなかできなくなった環境で、冬にもっとスポーツに親しめる場として、ほかのスポーツも含めてトータルで、色々なスポーツができるようにということで建設しました。

・ゴミ処分場の建設

ゴミ処分場もスタートしていますが、1人当たりのごみの排出量が全道で下から2番目になっています。少しでもゴミの量を減らしたい。市も努力しますが、皆さんにも協力をいただきたく、訴え続けていかなければならないと思っています。

- **藤田征樹選手のパラリンピック出場**

令和3年は東京パラリンピックの時で、前回、藤田征樹選手に「これが集大成だね。」と言いました。今年40歳で、自転車は相当な体力があるので、できないと思っていました。今回もメダルの可能性が高いとされており、素晴らしいと思っています。ぜひ応援してほしいと思っています。

- **コロナ検査場の開設**

令和4年に、ポートサービスセンターでコロナの検査をするところをつくりました。木下グループの社長さんと吉永小百合さんの映画の関係で知り合いになり、その会社が検査をやっているという話から、行政が協力するならと、気持ちよく引き受けていただき、1年以上やっていました。

- **みなとの湯の再開**

みなとの湯は民間が中心で再開発し、物販施設だけではペイしないことから温泉をつくりましたが、やめてしまいました。たまたま猿払出身の東京の方、温泉の業界にいる方が、協力したいということで、その方に運営をお任せしていますが、一生懸命やっています。

- **送電線網の整備**

コロナで経済が動かない中、しっかりした送電線が、去年の4月に完成しました。働き手の人たちによるコンビニ利用、宿泊、生活用品の購入などで、経済を支えていただきました。また、民間の力を借り、新しい会社で、再生可能エネルギーの電気を送れるように取り組んでいます。

- **合葬墓の建設**

公園の墓地が利用されないまま、入りたいけどもそうならない、墓仕舞いをしたい、何とか対応できないかと言われて作ったのが合葬墓で3,000体入れます。皆さんにご利用いただいております、そんなことにも取り組みさせていただきました。

- **新庁舎の整備**

耐震化への国の財源措置もあり取り組んでいます。進捗率は25%で、

来年の6月、7月に完成、10月ぐらいには共用します。ストレッチャーでロビーに人を運んでこれるような災害対応ができる庁舎で、特徴的なのは地中熱の利用で、国の補助金も活用してやっていきたいと思っています。

- **稚内中学校の整備**

稚中にやっと手をかけることができました。ただ、子どもの数が少なく、中央小の入学式で20人ぐらいでした。若い世代の生活にゆとりを持ってもらうよう、給食費の半減など様々取り組んでいますが、それだけでは人口の回復は難しいと思っています。

- **市立稚内病院の充実**

今年の4月に泌尿器科、去年は循環器内科に常駐のお医者さんが来て、お医者さんの数も41人まで回復しました。開業医も5軒が開業医誘致条例で設置していただいています。開業医の皆さんを支えながら、全体の医療を守っていきたいと考えています。

- **消滅可能自治体**

国会議員の先生に消滅可能自治体って、他人事のように語っていいのか。国境に人が住まなくなる。この地域を守ってくれないと日本の北の国境は守れないという観点で、この地域を見てくださいというお話をさせていただきましたが、日々色々なことをやっています。

◆ ふれあいトークで話し合われた内容は、以下のとおりです。

1. 人口減少対策について
2. 熊対策について
3. 歩道の除雪について
4. 市道の維持管理について
5. 宗谷岬の構想について
6. 白い道について
7. 総合体育館のトイレについて
8. ごみ収集中止のお知らせについて

1. 人口減少対策について

●参加者からの意見、質問

稚内市の人口の減少について、これから、こういった対策を考えていらっしゃるのか。

●市長の発言

人口減少対策に有効な手立てはなく、様々なことをやるしかないと思っています。総合計画は、かつて人口何万人を目指すとしていましたが、今は何年後は25,000人ととどめますという計画になっています。

自然減が中途半端な数ではなく、若い人たち、家庭を持っている方への支援策として、医療費の無料化、給食だとか、色々な手立てを打っています。出会いマッチングアプリなども含めて否定しませんけど、どこまで行政が入っていけるのかはありますが、色々取り組んでいます。

今は、外国人が、640、50人来ていて、そのうち450人がベトナムから来られています。人口減少が人手不足に繋がって産業がダメになってしまうので、国際交流員を採用しましたが、同じ国の人たちが相談を受けたりし、ここが非常に良いという話が母国に伝わることで、また来てくれる例もあり、外国人も含めて、経済を守るという意味で人を増やす努力はこれからもして行きたいと思っています。

2. 熊対策について

●参加者からの意見、質問

熊対策について、聞かせていただきたい。

●市長の発言

今年は人が生活しているところに出てきたので、学校を休みにするなど様々な対応をしました。北海道は自然と人間が共存している地域で、クマを何頭まで増やすか、北海道が管理計画を持っています。

北海道もメスを減らすだとか様々なことをやっていますが、最近はある場所をゾーニングして、ここは出てきたら撃ってしまうだとか、ここにいる間は追い払うだとか、ここは注意など、という考え方が示されていて、もう少ししたら具体的なものが出てくると思います。

国や北海道に地域の現状を伝えるようにしていますし、この間も関係者が集まって訓練をしています。聞雲にヒグマを撃つてしまえという話ではありませんが、今年は学校のグラウンドや普段生活しているところに出てきているので、これはもう力づくで排除しなきゃいけないという思いで取り組んでいます。

3. 歩道の除雪について

●参加者からの意見、質問

高齢者は杖を持って歩く方が多い。冬はスクールゾーンに除雪は入るが、他はなかなか入りません。除雪ができていないと、人の足跡を歩いたり、曲がり角に除雪の雪が積み上がっていると足を踏み越えていかなければなりません。買い物ばかりでなく、冬の間は運動の面からも、普段の除雪も大変でしょうが、歩道の確保もお願いしたい。

●市長の発言

我がまちの除雪費は年間13億円ぐらいで、よそのまちと比較して少なくはありません。色々な立場で様々なご意見をいただいております、業者の皆さんにこのような意見があるというお話しはします。土木課職員も一生懸命取り組んでいますので、ご理解いただきたいと思っております。

我がまちの面積は、香川県の40%の面積で広く、道路も長い、ありとあらゆる道路を除雪しなければならず、辛いところに行き届いていないという思いはあります。庭先の雪を道路に出して、それを持って行けというトラブルもたくさんあります。1回で問題が解決するわけではなく、時間をかけ、今の道路、歩道の除雪を一つ一つやっていながら、良い方向に向かうしかないと思っています。

4. 市道の維持管理について

●参加者からの意見、質問

転勤で稚内に来て一冬しか経験していないが、車道の除排雪は素晴らしい。ただし、歩道については、雪が降っても基準に満たなければ、今日は除雪しない、今日も、今日もとなると、どんどん溜まり歩けなくなっている。車道を歩くとクラクションを鳴らされる。市役所に2回ぐらいお願いしたが改善が見られない。街路樹があるため、車道と歩道間に雪山を残しておく、雪が降っていなくても風で埋まる。

街路樹で交差点が見つらい、歩道自体が雑草だらけ、街路樹が腐れて倒れているなど、街路樹や草刈りを丁寧にやっていただきたい。

●市長の発言

道路パトロールがきちんと市内全域をコントロールできているかについて、所管課ともよく話をしなければならないと思います。いかにせん、広さと道路延長の長さ、予算を比較すると、痒いところに手が届いていないんだろうと思っています。

かつてまちづくり委員会の取り組みをした時代がありましたが、ぜひ地域の皆さんのお力をお借りしながら、まちの美化や交通安全も含めて取り組まなければならないと考えています。できるだけ持っている能力をできるだけ有効に活用して、しっかりと対応できるようにしたいと思います。

5. 宗谷岬の構想について

●参加者からの意見、質問

基幹産業のシフトを観光に向けてはどうか。外国人のお客さんが最近、利尻・礼文まで来ています。宗谷岬を魅力あるものにするのが、お客さんを呼び込むために必要と考えています。

去年12月、ワークシートを使って、宗谷岬をどうするという話がありました。①構想はどの辺まで進んでいますか。②宗谷岬のトイレを良くしていただきたい。③具体的な話を市の関係者と打ち合わせをさせていただけるとありがたいです。

●市長の発言

我々は年間数億のお金を基幹産業である観光に投じています。DMOは、観光は観光業者だけの話ではなく、よそから入ってくる人にお金を使ってもらって、経済の規模を維持しなさいというもので、我々もそれに則って進めています。これだけの広さや長さで、色々な観光スポットがあり、全部を整備するのは我がまちの財政規模では至難の技です。

ここを目指す多くの方は最北端ということで宗谷岬は大事です。宗谷岬の構想は具体的に肉付けし、現実的なものになるよう検討しています。白い道は環境のイメージが合うので、少し健康的な観光地にしたいと考えています。

交流人口、関係人口に軸足を移しながら行政を運営していますので、観光は非常に重要であり、観光交流課には色々のご意見があったことは伝えますが、これからも支えていただければありがたいと思います。

■検討状況など 【担当・・・建設産業部観光交流課】

宗谷岬周辺魅力創出基本構想については、関係者へのアンケートや、市民ワークショップを開催し、様々な意見を伺いながら、令和6年3月に策定しました。整備エリアとしては、「宗谷岬公園周辺」と「白い道周辺」の大きく二つの区域になるものと考えており、今後は関係者との協議を進めつつ、構想の実現に向けて検討を進めていきます。

宗谷岬のトイレについては、経年劣化による腐食が進んでいることは把握しており、必要に応じて修理をしてきたところですが、大規模な改修は、前述しました基本構想における、宗谷岬公園周辺の整備の中で、関係者の意見を伺いながら対応を検討していきます。

6. 白い道について

●参加者からの意見、質問

白い道を一方通行にしていただけませんか。宗谷の公園から上がられると車のすれ違うところがなく非常に危険で、一応ここはゴールと書いているがそれだけではわからない。いつ事故が起きてもおかしくないと思って走っていました。

●市長の発言

一方通行もそうだし、車だとかを通していいのか、違う手段で電気バスとか、そういうもので行きかえるような検討はできないかという話しています。入口が非常にわかりづらいという指摘も所管課の方へお話しします。

■検討状況など 【担当・・・建設産業部観光交流課】

宗谷丘陵白い道は、公道として管理されており、トラクター等の作業路としても利用されていることから、一方通行規制となっておりません。利用者には安全に通行していただけるよう、看板の設置やWEB動画などでルートの周知を徹底していきます。

7. 総合体育館のトイレについて

●参加者からの意見、質問

- 富士見の総合体育館のトイレが和式で、今の時代にあわないのではないかと。足腰が弱ってきたので洋式に変えてほしい。
- 総合体育館には和式1つと洋式1つありますが、洋式のウォシュレットが2、3年前から故障しており、体育館から利用者へのアンケートで要望しています。

●市長の発言

公共施設のトイレの洋式化については、10年以上前は両方欲しいということでしたが、時代の波で変わってきているのだろうと思っています。当時は必ずしも和式をやめるということではありませんでした。最近、その様なご意見があちこちから出ていますので、使っていただく市民の皆さんの利便性が高まるよう取り組んでいきます。今すぐかどうかは別にしても検討します。

■検討状況など 【担当・・・総務スポーツ課】

現在は各家庭や学校などの多くが洋式となっており、需要があることは認識しています。

利用状況等を踏まえ、洋式と和式の設置割合の適正化について検討していきます。

8. ごみ収集中止のお知らせについて

●参加者からの意見、質問

昨年除雪が入らず、ごみ収集のない日がありました。スマホを持っている方は防災メールでわかりますが、年寄とかスマホがない方はわかりません。この町内は除雪が入らない、ごみも収集しないなど防災ラジオで発していただければ住民は助かるんじゃないかと考えています。

●市長の発言

防災ラジオをなんでもかんでもこれ通じてやると、收拾がつかなくなります。所管で色々検討していると思いますが、ご意見は伝えます。

困ったときは広聴に電話をかけてください。SNSで、双方向でやり取りができるシステムも考えていますが、高齢者も使いやすいような対応を考えます。

■検討状況など 【担当・・・生活衛生課】

ごみ収集は、悪天候時においても原則として収集を行っておりますが、平常時よりも収集時間が遅れる場合や、予告なく中止することがあることをあらかじめ周知させていただいております。

実際にごみ収集を見合わせる場合には、まず各町内会長への電話連絡を行い、その後、「FM わっぴ〜」や「市ホームページ」を通じて収集に関する情報をお伝えしております。また、警報発令時などの状況に応じて、「防災情報メール」を配信し、市民の皆様迅速な情報提供を心掛けています。

さらに、新たに「稚内市公式 LINE」を活用し、悪天候時のごみ収集情報を配信する予定です。これにより、スマートフォンなどを通じてお住いの地域の状況を随時把握できる環境を整備できると考えております。

これらの情報媒体を組み合わせることで、より多くの方々に正確な情報を届けることが可能となると考えており、市民の皆様が安心して生活できるよう、適切な情報提供に努めてまいります。

■ 検討状況など 【担当・・・総務防災課】

「緊急告知防災ラジオ」（以下、防災ラジオ）から割り込み放送を行うのは、生命に関わる緊急の情報を市民の皆様へいち早くお伝えすることが目的のため、ご意見として出された道路の除雪やごみ収集に係る情報発信は行っていませんのでご了承願います。

なお、市民生活に関わる市からの情報は、「FMわっぴ〜」のほか、今後は「稚内市公式 LINE」も活用する予定です。

「防災ラジオ」は、平常時は普通のラジオとしてお使いいただけますので、「FMわっぴ〜」の放送を聞くのに是非ご利用ください。

ご参加いただいた皆さんから、さまざまなご意見をいただきました。お忙しい中、ご参加いただきましたことに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。